

夕涼み会



ユニアイホームだより

やまばと

平成20年10月1日

No.2

発行者
社会福祉法人
矢祭福祉会

東白川郡矢祭町
東館字麻屋敷122
Tel (0247) 46-3385
Fax (0247) 46-4400

夏のお祭り「夕涼み会」

ユニアイホームでは、8月9日に夏祭りを行いました。いつもの食堂ホールがこの日は、利用者の皆さんとご家族の方々、そして屋台で一味違った顔を見せてくれました。

夕涼み会が始まり、ポップコーン、かき氷といった夏祭りの定番のメニューでいつもの気分が盛り上がります。一通り屋台を堪能した後は、お待ちかねのご馳走の時間です。テーブルいっぱいになんだご馳走は、食べきれないほどでした。

会はその後、カラオケ大会、踊りや出し物と進んでいき、夕涼み会の最後を飾るのは、夜空を彩る花火です。

花火が上がる
と、皆さんその音
に驚かれたよう
でした。しかし、
花火の輪が広がり
美しい光景が
広がる、まるで
心を奪われた
ように花火に
くぎづけでし
た。この夕涼み
会で見せた食
欲と元気で実
りの秋を迎え
たいものです。



「あいさつ」

理事長 菊池 四郎

私は、平成六年にユニアイホームが発足して以来本年まで理事長の職にあり、その運営について歴代の施設長とともにあたってきました。その他、矢祭町より種々の事業の運営を委託され、本日の形となって、地域の老人福祉のため尽力してきました。

その途中、十八および二十年年度に、合わせて十ヶ月位の期間、施設長が病気のため休職となり、私とその職務を代行してきましたが、職員並びに利用者の皆さまにご不便をおかけしたかと思ひ、お詫びとご了解をお願い申しあげます。しかし、介護の現場に入り、実際に聞き取ったことも参考となりましたので、今日の運営に反映していきたいと思っています。

基本方針に掲げるとおり、当法人は、社会福祉事業の実施主体として「高齢者並びに障害者の地域における豊かでやさしい生活と人生の実現に寄与する」という大きな役割を担っております。ある情報誌において、高齢者の要望として「一、感じのよい人たちの世話になりたい。二、楽しみは食べること、美味しいものを食べたい。三、快適な生活空間で暮らしたい。四、静かな遊び場やにぎやかな遊び場が良い。」という人が多いという報告があります。

一への対応として、我々は全て利用者優先という考えをもち、常に自分の親に尽くすという考えで介護にあたると指導しております。二の食事については、本年七月に栄養士が管理栄養士の資格を取得し、栄養価の高い個人の条件に応じたメニューを作成して美味しい食事を提供しております。三の快適な空間については、他の施設より広いスペースが設けられており清潔確保に努めております。四の地域の状況については、町の中心地に位置し、駅にも近く、家族の訪問等についても交通の便が良いという好条件の施設でもあります。

こうみてきますと、私たちのホームは理想的な条件を備えていると思われ、運営については、今後も精一杯の努力をして、利用者の介護にあたっていくと思ひを改める次第です。

高齢化社会といわれて入居の平均年齢も高くなり、現在八十五、六歳となっております。その対応もまた大変ですが、その施設長「齊藤守保氏」が、昨年八月の多難なる時期に就任されて以来、様々の組織改革、新しいプロジェクトの創設、職員の倫理綱領の作成等、率先して運営にあたられてきましたが、残念ながら、本年九月十二日現職のまま亡くなられました。ユニアイホームの施設長として殉職されたようなものであり、病床にあっても最後までホームのことを話されていたというのを聞くと、我々は齊藤氏の意志の実現に向けて精一杯努力し、それに報ゆるべく誓うものであります。

デイサービスセンター 館山荘

利用者の皆さまに協力して頂き七夕飾り作りしました。5メートル近くもある大きな竹2本に利用者の皆さままで作成した飾りや思いの願い事を書き込んだ短冊を飾り付けました。短冊には「健康で長生きできますように」や「いつまでも元気で館山荘を利用できますように」など様々な願い事がありました。

また、7月7日（月曜日）、9日（水曜日）には『七夕おやつ作り』題した行事を行い、ゼリーを作りました。ゼリーを作るのは初めてとの声もありましたが、皆さま上手に作っていました。「今度は自宅で作ってみよう。おいしい、おいしい。」などとお話をされながら試食しました。



ユウアイホーム デイサービスセンター

デイサービスの年間行事のひとつである紅白ミニ運動会を六月二十三日～二十七に行いました。

競技は利用者さん代表による選手宣誓の後、紅白に分れてのボール渡しゲーム、紅白玉入れ、個人競技のパン食い競争に加えて日替わり競技が行われ、通常のリハビリ運動とは少し雰囲気も意気込みも違った5日間になりました。団体競技では、チームの仲間の活躍に手をたたいて喜び、個人競技では、普段、杖を使いゆっくりゆっくり用心深く歩いている方が、杖を使うのを忘れて駆け出し、傍らに付いていた職員を驚かせるといった場面も見られました。

今回のミニ運動会をはじめ、こういったさまざまな行事では、利用者さん達の奥に秘めているパワーを感じる事ができます！

「せせらぎ荘より…ワイワイ楽しくバーベキュー」



八月二十二日、バーベキューをおこないました。

食堂脇のテラスで鉄板を使い、肉、野菜、焼きそばなどをご自分で焼きながら和気あいあいと召し上がっていただきました。

食堂のなかではホットプレートを使用して職員が焼いて召し上がっていただきました。
「もうお腹がいっぱいです。」という方も最後には焼きそばを頬張り、楽しいひとときを過ごされたようです。

(和田)

★御礼申し上げます★

◆ わたなべ食堂 様 ◆

“鮎の塩焼き(130匹)”ありがとうございました。(ご馳走様でした。)



◆ やまゆりの会 様 ◆

夕涼み会でのお手伝いと“ダンス”披露ありがとうございました。



◆ 矢祭中学校の皆さま ◆

夏休みのサマーショートボランティア活動ありがとうございました。

目的ある離床と日常生活動作の向上

離床は、日常生活を送るための第一歩ですが、目的なくただ物理的に起こされているのでは、起こされた本人(高齢者)は苦痛を感じてしまいます。何らかの目的を見つけ出し、本人自身が自分から起きたいと思うような離床が出来るよう配慮することが大切です。

ベットは暖かく柔らかく安心感があるため、長い間寝ていることに慣れた高齢者はなかなか起きようとしてくれません。さらに、急に起こそうとすると、痛み・めまいなど廃用症候群によって引き起こされる色々な症状があらわれることがあり、高齢者本人に苦痛を与える事も少なくありません。

介護者は、高齢者本人に日常生活動作を行うにあたって、どれくらいの能力が残っているのか(残存能力)を知ることが重要です。「本当は座っていることができる」とわかると「ポータブルトイレを使用することが出来るかもしれない」と、活動範囲を広げていくことができるのです。そして、その活動が安全に安定した状態で行えるようになり習慣化することによって、高齢者本人の生活水準を上げていくことができるのです。

介護主任 藤 田

健康だより

～老人性皮膚掻痒症について～

冬になると、空気が乾燥して肌の潤いが奪われやすくなる為に「肌がかさかさしてかゆい。」「布団に入ると体がかゆくて眠れない。」などの訴えが増加します。これは、加齢とともに、その傾向は強くなります。

かゆみが起こるのは、主に腕の上部から肩にかけて、すね、もも、脇腹、腰などですが人によってさまざまなおところにかゆみを感じます。

「乾燥するとなぜかゆくなるの？」

乾燥した皮膚は「皮膚の最も外側にある角質細胞が乱れて隙間ができる、かゆみを生じさせる神経の先端が皮膚の表面まで伸びてくることにより外部からの刺激を受けただけでも、その刺激が脳に伝達されかゆみを感じます。また、かゆい部分をかいたりすると、それが新たな刺激となり、さらにかゆみが増加して苦痛を伴います。

皮膚の乾燥を防ぐために、入浴後症状に応じて保湿剤を使用したり、衣服は刺激の少ない軟らかい素材（綿・絹）を着用、室温・湿度の調節管理をしてかゆみの軽減に努めております。

◆インフルエンザワクチン予防接種について
十一月中旬に実施を予定しておりますので、ご理解くださいますようお願い致します。

主任看護師（菊池）

～ 食 事 の 力 ～

施設で毎日を生活しているお年寄りに、「一番の楽しみは何か？」と聞くと、お年よりは「わかんねえ」と笑う。黙ったまま、私の顔をじっと見る。

でも、一番の楽しみは「食事」や「おやつ」だとわかる。食事やおやつの時間になると、「表情が、イキイキ」としている。「目の輝き」が違う。「おいしいねえ」と食べている、お年よりを見ると、思わず微笑んでしまう。食事で「生きる力」を充電して、健康で長生きして欲しい。

管理栄養士（菊池）



長寿さん集合！



【写真 左より】

10月1日現在

古市	盛夫	様	96歳
勝田	タメ	様	96歳
渡邊	ハツイ	様	99歳
成瀬	ミネ	様	101歳

皆さまお元気で長生きしてください。

お詫びのことば

平素は当法人が運営いたします福祉サービス（事業）につきまして格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。このたび、特別養護老人ホームユアアイホームにおいて“サルモネラ菌”による感染性胃腸炎が発生し、サービスご利用者およびご家族の方々をはじめとする関係者の皆さまに、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

特に、ユアアイホームショートステイならびにユアアイデイサービスをご利用いただいている皆さまにつきましては、利用受け入れの中止措置により、大変なご負担をおかけすることとなり発生後は、福島県南保健福祉事務所のご指導のもと施設内の衛生管理を徹底して感染の拡大防止を図り、協力病院・地域の医療機関との連携により有症者の症状改善に努めてまいりましたが、おかげ様をもちまして、その後は感染の拡大も見られず、有症者も皆無となりました。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成20年9月30日

社会福祉法人 矢祭福祉会

齊藤 守保 施設長 やすらかに



去る9月12日にかねてより病氣療養中だった齊藤守保施設長が永眠されました。

齊藤施設長という立派な指導者を失ったことは、当法人の将来にとって大きな損失と言わざるをえませんが、私たち職員は、施設長に育てられたご恩を胸に、その意志を受け継いでいく所存です。



施設長が心血を注ぎ、生命を賭して築いた礎のうえに、日々精進に励み、当

人を必ずや発展させることをここに誓います。施設長どうぞ天国で見守っていて

ください。職員一同、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。